

令和2年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業 【実践事例レポート】

- 1 報告地区 : 空知地区
- 2 事例報告学校名 : 長沼町立長沼小学校
- 3 報告者 : 校長 小玉 剛
- 4 キーワード : 小中連携、小中一貫教育の推進

1 はじめに

長沼町は、小学校5校を1校に統合し、令和2年度から長沼小学校をスタートさせた。中学校はすでに平成26年度に統合を完了しており、これにより町内一つずつの小学校、中学校となり、町の教育の中心的役割が一層明確になった。また、長沼町教育行政執行方針において、「小中一貫教育を加速し、授業改善の連携や教育課程の接続強化」を進めることが示され、小中一貫教育に向けての取組をスタートさせたところである。

2 実践の概要

(1) 「小・中学校の教育目標」の策定

小中一貫教育を推進するためには、小・中学校の全教職員がゴールを共有することや、何をどのように取り組むかについて共通理解を図ることが重要である。小学校は昨年度の統合準備委員会において検討され、今年度からの教育目標が承認されており、中学校も視点を合わせた教育目標をすでに策定済みである。

長沼小学校 教育目標

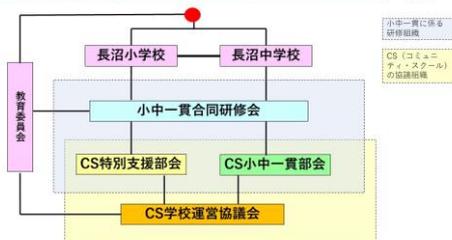
- ・長沼の伝統と先端から学び、つながり、拓こうとする子（地域から学ぶ 地域貢献）
- ・よく考えて判断し、行動しようとする子（学ぶ意欲と思考力・判断力・表現力）
- ・多様な人たちと協働して、よりよい社会を創っていこうとする子（文化や価値観を受容・共感できる能力 他者との協働 問題解決力 ふるさと創生）

現在は、「小中一貫教育グランドデザイン」策定に向けて検討が進められており、小中一貫教育の目的や目指す児童生徒像などがまとめられているところである。

(2) コミュニティスクールと組織

小中一貫教育を進めるための組織は、今年度からスタートした学校運営協議会内の部会として構成されている。地域の支援や教育委員会の関わりのもと、地域と共にある学校づくりの一つとして位置付けられている。

3. 小中一貫教育推進の組織編成



(3) 小中合同研修の推進

今年度はこれまでに5回の合同研修会が実施された。4月には、オンライン研修会として北海道教育大学札幌校准教授『川俣 智路氏』より「学習支援から学習者の発達支援へ」～UDLを支える足場的支援～と題してご教授いただいた。

また、8月には、長沼町教育委員会より「長沼町がめざす小中一貫教育について」の説明があり、長沼町小中一貫教育推進アドバイザーの『日渡 円氏』（兵庫教育大学教授）によるご講演もいただいた。小中一貫教育の社会的背景や教育情勢を説明され、一貫教育の具体的な取組について全教職員で共通理解ができた。

